

(様式Ⅲ) 記入例

提出年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

業 績 目 録 学位論文, 原著, 症例報告, 総説, 著書等, 主要学会での発表の別に,
それぞれまとめ, 印刷してください。 氏 名 大 学 太 郎

類 別	番号	著者名(発表者名) 全員の氏名を記載順に記入してください。 学位論文(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター), 原著(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査続の有無), 症例報告(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査続の有無), 総説(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査続の有無), 著書等(分担項目名・書名・初頁～終頁・発行所・年・査続の有無), 主要学会での発表(題目・会名・年; シンポジウム・特別講演等の別)
学位論文	○	*大学太郎. 〇〇〇〇〇における△△△△の形態計測的研究 —××××学的所見との関係— 臨床神経 20:31-39, 1982
原著	1	*大学太郎. 〇〇〇と△△△△との関連. 九州神経精神医学 7: 263-266, 1992 査続: 有無
	2	*Daigaku T., Oita J., Monka S. Stemlin he.....of DNA in he..... carcinoma. Am. J. Surg. Pathol. 10: 789-794, 1994. (IF:〇〇) 査続: 有無
	③	#Oita J., #Daigaku T., Monka S. Human uu..... imm.....RNA.....factor..... cancer cells. J. Cancer 19: 452-458, 1995. (# equal contribution) (IF:〇〇) 査続: 有無
	④	Oita J., Monka S., *Daigaku T. Abnormal hu..... imm..... to mu.....Stimu..... in with lung cancer. Cancer 69: 2252-2257, 1996. (IF:〇〇) 査続: 有無
	⑤	*大学太郎. 〇〇〇〇からみた薬剤の△△と××法: 髄膜炎(〇〇性・△△性・×××性). 医学と薬学 22: 801-809, 2001. 査続: 有無
症例報告	1	*大分二郎, 大学太郎, 文科省一. 〇〇〇〇を認めた△△△△硬化症の2例. 神経内科 31: 104-108, 1993. 査続: 有無
総説	1	Oita J., Daigaku T. 〇〇性△△炎. ×××科ハンドブック(山田◇◇編), 150-250, 南江堂, 東京, 1992. 査続: 有無
	②	*大学太郎, 大分二郎. Port..... sh..... Pit... and Comp... in the Dia... Disease (ed. by N. J. Ly..... and M. Ma.....), 475-484, Georg Thieme Verlag, N Y, 1993. 査続: 有無
著書等	1	Daigaku T., Monka S. Mucosal..... against bacterial in the nose. VIV World Congress ofgy Head and Neck Surgery, Round Table, 1989, Madrid, Spain. 査続: 有無
学会発表	1	大学太郎, 山田花子, 文科省一 〇〇〇〇〇領域レーザーサーミア臨床の△△△△に関する研究. 第×回レーザーサーミアシンポジウム 1995. 8. 犬山市.
	2	大学太郎, 〇〇〇〇〇における△△△△△と×××××の変動について. 第〇〇回臨床△△学会総会 1998. 10. 千葉市. 一般演題 上記ほか〇〇回
その他	1	大分二郎, 大学太郎, 文科省一. 〇〇〇〇を行う△△△△システムの検討. 神経内科 31: 104-108, 1993.
		(全ての業績) 原 著 7 7 編(和文5 0 編, 内ファーストオーサー1 7 編) (欧文2 7 編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 8 編, インパクトファクター計〇〇点) (内コルパソ ンデ ィ ング オ ーサー 2 編, インパクトファクター計〇〇点)

	症例報告	10編（和文 5編，内ファーストオーサー 2編） （欧文 5編，インパクトファクター計〇〇点） （内ファーストオーサー 1編，インパクトファクター計〇〇点） （内コレスポンディング・オーサー0編，インパクトファクター計〇〇点）
	総説	25編（和文15編，内ファーストオーサー 7編） （欧文10編，インパクトファクター計〇〇点） （内ファーストオーサー 8編，インパクトファクター計〇〇点） （内コレスポンディング・オーサー1編，インパクトファクター計〇〇点）
	著書等	30編（和文20編，内ファーストオーサー15編） （欧文10編，内ファーストオーサー 5編）
	その他	2編（和文 2編，内ファーストオーサー 1編） （欧文 0編，内ファーストオーサー 0編）
	シンポジウム，特別講演等	25回（内トップネーム 20回）
	一般演題	国際学会 30回（内トップネーム 25回） 国内学会 50回（内トップネーム 39回） 地方学会 15回（内トップネーム 12回）

※記載上の注意

（１）学位論文について

学位論文は，業績目録の冒頭の類別欄に学位論文，番号欄に○と記入し（原著としての番号は付けないで下さい。），別刷を添付して下さい。業績数を類別毎にまとめて業績目録の末尾に記入する際には，原著数に含めて下さい。

（２）業績について

ア 学位論文，原著，症例報告，総説，著書等，主要学会での発表等の別にそれぞれ類別毎にまとめて和文，欧文を併せて古いものから発表順に記載し，類別欄にその類別を記入してください。また，インパクトファクターについては，（ ）書きにて小数点以下3桁まで表記して下さい。

学位論文，原著，症例報告，総説の著者欄記入にあたっては，すべての corresponding author の左上端に「*」印をつけてください。

ファーストオーサーが複数である場合は，ファーストオーサーの著者全員の名の左上端に「#」印をつけ，著者名記載の後に「(# equal contribution)」と記載して下さい。

著書等は，単著（監修を含む），共著及び分担執筆の別を記載し，共著の場合は，著者全員の氏名を記入してください。また分担執筆にあつては，編集者の氏名（代表者1名）を記入してください。

原著，症例報告，総説，著書には，査読の有無も記入して下さい。

なお，主要学会での発表は，シンポジウム，特別講演等の発表のみ記入してください。

イ 番号欄は，類別毎に一連番号を付し，提出する原著等の別刷（20編以内）については当該番号を○で囲んでください。

ウ 著者名は，著者全員の氏名を順序に従って記入し，本人の氏名にアンダーラインを付してください。

エ 未印刷の業績については，当該編集委員会の掲載受理証明書を添付してください。

オ 年報・報告書・letter to editor・プロシーディングは，「その他」のところにまとめてください。

カ 抄録は，原著に入れないでください。